

ART300GA

表象文化演習－視覚芸術研究へのアプローチ

深谷 公宣

配当年次／単位：3～4年／4単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

視覚芸術の様式やスタイルを成立させている要素にはどのようなものがあるのかを考察する。2018年度は、映画を採り上げる。特定の映画作品に表現される物語や社会関係、文化的背景の他、風景、都市、自然、建物、小物、服装、効果音といった、物語の周辺に位置する様々な要素（物語素）にも注目し、映画作品を成立させる要素について解釈する視点や方法を探る。

【到達目標】

(1) 視覚芸術に表現される様々な要素を、自覚的に「見る」ための、自分なりの「スキーム」を身につける。
 (2) 「見る」とは文化的な作業であること、文化が異なればもの見方が変わることについて、具体例を挙げて説明することができる。
 (3) 視覚芸術作品について、関連資料を批判的に参照しながら、自分なりの解釈を構築した上で口頭発表し、レポートなどの形にまとめることができる。

【授業の進め方と方法】

前期の前半は指定した映画作品（群）について、担当学生に作風や見所を調査報告してもらい、討議する。前期の後半と後期の前半は、「戦争の表象」という観点から特定の作品を分析し、資料を読解する。後期後半は受講者各自が研究主題を定め、研究発表と意見交換を行う。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
1	導入	映画の基本的な見方について。報告の分担について。
2	古典的ハリウッド映画	作風、物語の傾向、ショットの特徴、空間構成などについて報告と討議
3	ネオレアリズモ	作風、物語の傾向、ショットの特徴、空間構成などについて報告と討議
4	ヌーヴェル・ヴァーグ	作風、物語の傾向、ショットの特徴、空間構成などについて報告と討議
5	フィルム・ノワール	作風、物語の傾向、ショットの特徴、空間構成などについて報告と討議
6	小津安二郎	作風、物語の傾向、ショットの特徴、空間構成などについて報告と討議
7	溝口健二	作風、物語の傾向、ショットの特徴、空間構成などについて報告と討議
8	日活ムードアクション	作風、物語の傾向、ショットの特徴、空間構成などについて報告と討議
9	東映任侠映画	作風、物語の傾向、ショットの特徴、空間構成などについて報告と討議
10	角川映画	作風、物語の傾向、ショットの特徴、空間構成などについて報告と討議
11	『ヒロシマ、わが愛』	戦争の表象はいかにして可能かを考える（1）
12	『この空の花』	戦争の表象はいかにして可能かを考える（2）

13	『ペコロスの母に会いに行く』	戦争の表象はいかにして可能かを考える（3）
14	『この世界の片隅に』	戦争の表象はいかにして可能かを考える（4）

秋学期

回	テーマ	内容
15	『シンドラーのリスト』と『ショア』	戦争の表象はいかにして可能かを考える（5）
16	資料読解（1）	戦争と映画についての資料を読む
17	資料読解（2）	戦争と映画についての資料を読む
18	資料読解（3）	戦争と映画についての資料を読む
19	資料読解（4）	戦争と映画についての資料を読む
20	資料読解（5）	戦争と映画についての資料を読む
21	資料読解（6）	戦争と映画についての資料を読む
22	研究発表（1）	各自設定したテーマについての研究発表
23	研究発表（2）	各自設定したテーマについての研究発表
24	研究発表（3）	各自設定したテーマについての研究発表
25	研究発表（4）	各自設定したテーマについての研究発表
26	研究発表（5）	各自設定したテーマについての研究発表
27	研究発表（6）	各自設定したテーマについての研究発表
28	まとめ	改めて映画を「見る」とはどういうことかー特に「戦争表象」について討議

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱う作品以外にも、積極的に映画作品を鑑賞すること。

【テキスト（教科書）】

教科書は用いない。適宜、プリントを配布する。

【参考書】

バックランド『フィルム・スタディーズ入門』（晃洋書房）
 ボードウェル、トンブソン『フィルムアート 映画芸術入門』（名古屋大学出版会）
 ライアン『Film Analysis 映画分析入門』（フィルムアート社）

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度（報告、発言） 60%
 研究発表 40%

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

管理 ID：
1804992
授業コード：
C1110